

平成 31 年度南薩地域の県管理河川における水防災意識社会再構築協議会の議事録概要

- ・ 日 時：平成 31 年 4 月 24 日（水） 10:00 ～ 11:07
- ・ 出席者：

南さつま市	本坊市長，大藺建設部長，七田危機管理官
南九州市	塗木市長，神藺防災安全課長
枕崎市	田中参事兼危機管理対策係長，神浦主幹兼土木係長
指宿市	山下危機管理課長
鹿児島地方气象台	稲葉次長，杉水害対策気象官
鹿児島県	
防災対策室	石塚防災対策係長
河川課	松元課長，小野技術主幹兼治水係長
南薩地域振興局	
総務企画部	杉之尾総務企画課長
建設部	川原部長，仙場建設総務課長，小川河川港湾課長
	柏木技術主幹兼河川砂防係長 外 4 名

説明又は意見等（要旨）	回答等（要旨）
議事(1) 水防災意識社会の再構築に向けた緊急行動計画の改定について （松元河川課長） - 平成 31 年 1 月 29 日に国が緊急行動計画改定の文書を発出 - 内容は，大規模氾濫減災協議会等を活用し，多くの関係者の事前の備えと連携の強化により，複合的な災害にも多層的に備え社会全体で被害を防止・軽減させる対策の強化を緊急的に図るべきであるということ - 具体的な内容については，関係機関の連携体制ということで，利水ダムの関係者，メディア関係者その参画について検討中であり，また，円滑かつ迅速な避難に資する施設等の整備に関する事項という中で，簡易型河川監視カメラを設置する計画がある。内容については，河川課，振興局等と吟味しながら，更なる取り組みに努めたい。 議事(2) 規約の改正について （柏木技術主幹兼河川砂防係長） - 県の組織改編に伴い名称を修正 議事(3) 取組方針の改定案について （柏木技術主幹兼河川砂防係長） ◎ 資料 3 【1 はじめに】 - 人口と河川整備率を修正 【2 協議会の構成期間】 - 県の組織改編に伴う名称修正	※ 意見等なし ※ 意見等なし

説明又は質問等（要旨）	回答等（要旨）
◎ 資料 4 ○ ハード対策の主な取組内容 【流下能力対策】 ・ 本年度管内 5 河川の河川改修を推進 【流木対策】 ・ 管内 7 箇所の砂防堰堤工等を推進 【危機管理型水位計等の検討・設置・運用】 ・ 危機管理型水位計を 2 4 箇所設置済 ・ 本年度 2 箇所（大浦川・大谷川）設置予定 【河川管理施設の長寿命化対策の推進】 ・ 本年度川辺ダムの長寿命化を推進 【寄洲除去，堤防伐採等の推進】 ・ 1 0 河川 1 4 箇所を実施中 【庁舎等浸水時の機能確保対策の検討】 ・ 公用車移動場所の指定検討中 ・ 枕崎市の記載について，浸水対策としては対象外であることから，今回削除 ○ ソフト対策の主な取組内容① 【新たにホットラインを構築する河川の検討】 ・ 二反田川が検討中であることから，今後検討を検討中に修正 【新たな水位周知河川の指定】 ・ 二反田川が検討中であることから，今後検討を検討中に修正 【地域住民が安全に避難するために，避難所等の見直し検討】 ・ 検討していることから，今後検討を検討中に修正 ○ ソフト対策の主な取組内容② 【教育機関等と連携した水防災学習・教育の実施】 ・ 検討していることから，今後検討を検討中に修正。ただし，気象台については，引き続き実施に修正。 【水防災をテーマとしたパネル展等の啓発活動の実施】 ・ 今後検討に修正。ただし，気象台については，引き続き実施に修正。 ○ ソフト対策の主な取組内容③ 【災害時に迅速な避難誘導ができるよう要配慮者等の避難訓練の実施】	

説明又は質問等（要旨）	回答等（要旨）
・ 総合防災訓練を毎年実施していることから、今後検討を引き続き実施に修正 （七田南さつま市危機管理官） 【緊急速報メールによる配信】 ・ Jアラートの整備による自動起動の部分で、土砂災害警報を昨年追加 （柏木技術主幹兼河川砂防係長） 【緊急時に早急かつ的確な対応を行うため、排水ポンプ等の配置】 ・ 南九州市の記載は、今後検討ではなく検討中でいいか。 （山下指宿市危機管理課長） 【緊急時に早急かつ的確な対応を行うため、排水ポンプ等の配置】 ・ 排水ポンプは設置されていることから引き続き実施に修正	（南九州市） ・ 了承
議事(4) 防災気象情報について （稲葉气象台次長） 【地域防災支援業務の強化】 ・ 地域毎の担当チームが対応することにより、地域と密着した対応が可能 【住民がとるべき行動を5段階に分け、情報と行動を明確化】 ・ 警戒レベルを5段階に分け、警戒レベルとの関連を明確化して伝えることにより、住民の主体的な行動を促す。 ・ 自治体もこれを活用して、避難勧告、避難指示（緊急）を検討していただくことになる。 【中小河川の洪水に関する危険度分布】 ・ 内閣府の避難勧告等に関するガイドラインで、流域雨量指数の予測値を避難勧告等に活用する判断目安として記載 ・ 流域雨量指数の予測値は、防災情報提供システムの専用Webページで確認可能 ・ 色分けで分かりやすく表示 【大雨警報（土砂災害）の危険度分布（土砂災害警戒判定メッシュ情報）の高解像度化】 ・ 5km四方から1km四方に高解像度化して提供（令和元年6月25日予定）	

説明又は質問等（要旨）	回答等（要旨）
【危険度分布の表示】 ・ 地図上に色で危険度が分かりやすくなるように表示 【スマートフォンで危険度分布を確認】 ・ いつでもどこでも状況把握が可能 （本坊南さつま市長） ・ 警戒レベルについては、行政へ連絡はあるか。 （七田南さつま市危機管理官） ・ 警戒レベルについては、一般の方へ周知されるか。 （塗木南九州市長） ・ 警戒レベルについて、九州北部の豪雨の時は、こういう情報は出たか。 （松元河川課長） ・ 警戒レベルについて、地図に着色で発表されるか。 （本坊南さつま市長） ・ 警戒レベルとは別の判断として、避難勧告等の対応をすることになるか。 （小川河川港湾課長） ・ 河川毎に防災行動計画というのを策定しており、気象・水象情報と各行政機関が取る行動のリンクを図っている。 ・ 平成３０年度から運用しているが、事象が発生せず、フォローアップに繋がってはいない。 ・ 万之瀬川、加世田川については、気象・水象情報を参考に各自治体が判断し、適切に指示等を出していただきたい。 （川原建設部長） ・ 警戒レベルについては、はっきり関連付けていないと訳が分からなくなってくる。まずは、気象台とも話をしながらいろいろ対応していきたい。	（稲葉气象台次長） ・ 警戒レベルとの関連を明確化して伝える ということで、警戒レベル４相当情報とか、行動を促す情報として伝える。 （稲葉气象台次長） ・ これから、ＨＰ等で広報する。 （稲葉气象台次長） ・ その当時は、レベル分けはなかった。 ・ いつからやるかは、まだ決まっていない。 （稲葉气象台次長） ・ まだ分かっていない。 （松元河川課長） ・ そうである。 ・ 万之瀬川、加世田川については、洪水予報河川になっており、きめ細やかな対応をしている。それをベースに判断していただきたい。

説明又は質問等（要旨）	回答等（要旨）
（小川河川港湾課長） ・ 情報については、逆の捉え方をされないよう提供をし、関係機関で協力しながら、いいタイムラインになるように進めたい。 議事(5) タイムライン(案) （柏木技術主幹兼河川砂防係長） ・ タイムラインについては、今年検証しなければならない。 ・ 台風等の事象が発生したら、時間を記入していただき、回収して分析したい。 ・ 今回は、事象に梅雨が追加されていることから、水防団待機が始まったときから時間を記入していただきたい。 （七田南さつま市危機管理官） ・ 実際に災害があった場合に、それに対応可能か。 ・ タイムラインの表に時刻等を書き込むことによって、何か変わるか。 （七田南さつま市危機管理官） ・ どういう事案の時に、タイムラインに時間を入れればいいのか。	（小川河川港湾課長） ・ 実際の時刻を時系列で追っかけることにより、他の情報システムと重複している部分があれば、検証の結果として出てくるので、それをフォローアップしていくことになる。 （小川河川港湾課長） ・ 消防団待機水位が開始されれば、タイムラインが始まるようなイメージである。
議事(6) 今後のスケジュールについて （柏木技術主幹兼河川砂防係長） ・ 資料等について、5月連休明けにデータを送るので、修正をお願いする。 ・ 資料等については、5月中頃に公表したい。 ・ タイムライン等の検証、現状・課題の抽出も併せてお願いしたい。 ・ 幹事会については、その都度また連絡を取りたい。 （杉之尾総務企画課長） ・ 幹事会は、いつ頃開催する予定か。 （仙場建設総務課長） ・ 時期は。	（小川河川港湾課長） ・ 国の改定等の動きがあれば、改定後に幹事会を開催したい。 （小川河川港湾課長） ・ 未定である。

説明又は質問等（要旨）	回答等（要旨）
議事(7) その他 （本坊南さつま市長） ・ 万之瀬川については、改修事業等御協力いただき厚く御礼申し上げる。 ・ 特に、平成３０年度は当初＋補正で、２年分の大きな予算を計上していただき、非常に築堤や護岸の整備が順調に進捗が図られていることに、本当に心から御礼申し上げたい。地元もしっかり協力してまいります。 （塗木南九州市長） ・ ハード対策の主な取り組みの中に、大谷川が入っていない。 （塗木南九州市長） ・ 今年は台風は多いか。予想はまだできないか。 【議事終了】	（川原建設部長） ・ 大谷川については、国の交付金事業ではなく、県単で改修している。 （稲葉气象台次長） ・ 難しい。

